



筑波技術大学では、大学のイベント情報や最新のニュースなどの様々な情報を提供するメールマガジンを配信します。ご登録は、登録用 URL (http://www.tsukuba-tech.ac.jp/mail_magazine) 又は QR コードから行えます。みなさまのご登録をお待ちしております。



6月7日、米国ギャロデット大学と姉妹校協定を更新しました。調印式には、本学から村上芳則学長ら7人、ギャロデット大学からT. アラン・ハーウィッツ学長ら5人が出席し、両学長が協定書に調印しました。両校はともに障害者を対象とした大学で、2007年11月に姉妹校協定を結んでいます。

これまで両校間では、教職員や学生の交流、教育・研究情報の交換、シンポジウムの参加を通して、教育と研究の発展を図っており、今回の協定更新を受けて、両校の更なる交流・協力が期待されます。

ギャロデット大学はワシントン D.C. にあり、1864年に創立された世界で最も歴史のある聴覚障害者を受け入れる人文科学系大学。聾（ろう）や手話の研究で、先駆的な役割を果たしています。

● 学長再任挨拶



天久保キャンパスの校舎とともに（平成 25 年 4 月撮影）

次の 2 年間、引き続き学長を務めさせて頂くことになりました。「障害者のより良い社会自立」を目標として大学運営に全力を尽くす所存です。

振り返りますと、この数年の間に「大学院の設置」や「教職課程の開設」、医療センターの「リハビリテーション科の開設」「留学生の受入開始」、さらには「図書館セミナー室の整備」「学生支援棟の整備」「筑波技術大学基金の設立」など、教育環境の整備、充実に関連した事項を皆様のご支援により実現することができ、大学の器としては充実が図れたと思っています。引き続き学生の力を伸ばすために、教育・研究環境の整備と充実に取り組んでいるところですが、特に今年度からは学生の自学修時間の飛躍的増加を目的として、ソフト面での教育環境のさらなる整備と充実を図り、実行しているところです。

さて、いま我が国はとても厳しい社会状況にあります。大震災の影響や急激な少子高齢化の進行などによる社会や経済の構造的変化など、これまでにない状況への対応と改革が各大学に求められています。これらの状況への対応として、本学では「大学改革実行プラン」に示されている「教育力の強化と質の保証」「卓越した教育研究拠点の形成」「国際化の推進」「学び直しの推進」などの実行と呼応して、「大学院情報アクセシビリティ専攻」と「理学療法士養成課程」の設置を実現し、障害者のより良い社会自立の促進において指導的役割を担える人材の育成が必要と考え、計画を推進しています。

今後も、国内のみならず、世界の障害者教育の先導的・中核的役割を担う大学として、着実な計画の推進により実績を積み重ねていく所存です。これまでと変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

筑波技術大学長 村上 芳則

● 紫峰会館を改修

5 月 10 日、天久保キャンパスにある紫峰会館を学生支援のための施設とする改修が終了したため、関係者を対象にお披露目が行われました。

紫峰会館は平成 8 年に非常勤講師等宿泊施設として建築されましたが、つくばエクスプレスの開通等による利用者の減少から、施設の有効利用を図るため、学生の支援を目的とした施設への改修を行いました。

1 階には、学生交流支援室、健康サポート室、カウンセリングルームが、2 階には平成 23 年度より開設された教職課程の授業を実施できるよう施設環境、設備に配慮した教室が設置されました。

今後の、本施設の積極的な活用による学生生活、学生教育の一層の充実が期待されます。

（財務課）

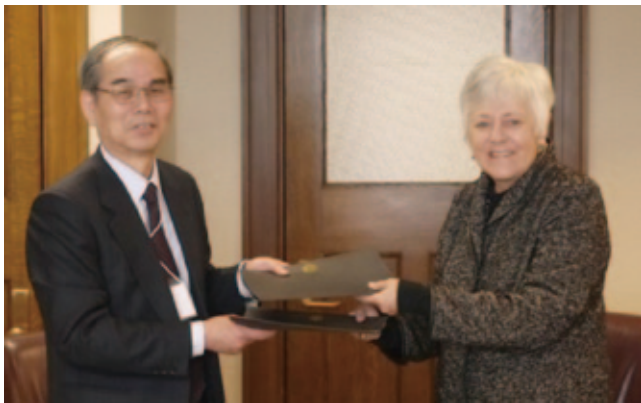


（左上）紫峰会館正面、（右上）お披露目会にて説明を受ける関係者、（左下）点字ブロックが設置された 1 階ロビー、（右下）教職課程の授業を受ける教室

● アイオワ大学と大学間交流協定を締結

3月25日、アメリカ合衆国のアイオワ大学と大学間交流協定を締結しました。調印式はアイオワ大学で行われ、本学からは村上 芳則学長、アイオワ大学からはサリー・メイソン学長らが出席し、協定書に署名しました。

アイオワ大学は、1847年に設立され、11の学部、教職員約12,000人、学生数約30,000人を有する総合大学です。これにより、本学の大学間交流協定数は14件となりました。



協定書を交換する村上学長とメイソン学長

関連して、3月24日から一週間、国際交流委員会事業の一環として、アイオワ大学を中心に海外研修が行われました。今回の研修には、保健学科理学療法学専攻3年の五味拓史さんと同専攻2年の吉井 さとみさんが、井口 正樹講師と中村 直子助教の引率で、授業見学、病院・医院訪問、研究室訪問、現地学生・研究者との情報交換などを行いました。学生は、知識・技術共に最先端を誇る米国の理学療法に直接触れ、良い刺激を多く受けてきました。



授業担当教員のウィリアムス博士から個別指導を受けている学生

帰国後の5月8日には、同研修について、引率教員と参加学生による成果報告会が開催され、教職員、学生が多数参加しました。井口講師が全体の紹介を行い、その後、研修に参加した吉井さんが、感想を述べました。彼女にとっては初めての海外であったため、様々な刺激を受け、今までの学業に対する態度を見つめなおす良い機会となったことでしょう。

なお今回の海外研修は、平成24年度教育研究等改革・改善事業と筑波技術大学基金からの補助金を受けて、特設科目「異文化コミュニケーション」として実施されました。

(国際交流委員会 荒木 勉)

● ロチェスター聾学校理事一行が本学に来訪

アメリカのロチェスター聾学校のハロルド・モウル理事、大学間交流協定を締結しているロチェスター工科大学のジェームズ・デカロ教授らの一行が、5月17日、本学を訪問しました。

当日は、石原 保志副学長より大学の概要説明を受けた後、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) や教育関係共同利用拠点「障害者高等教育拠点」事

業についての説明、産業技術学部の授業見学を行いました。

見学の際には、アメリカ留学を目指す学生、平成24年度末にロチェスター工科大学を訪問した学生などと会話をする場面も見られ、学生にとっても有意義な時間となりました。

(総務課企画・広報係)



石原副学長から概要説明を受ける一行



見学にて学生とアメリカ手話で会話する一行

● 東京オリンピック・パラリンピック招致活動における連携協定締結式

5月23日、東京都庁において、全国の77大学が参加し、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致活動における第2回連携協定締結式が行われました。本学からは、村上 芳則学長と保健科学部保健学科鍼灸学専攻1年の中澤隆（りゅう）さん（パラトライアスロン世界13位、日本1位）が出席しました。

今後は、第1回の5大学と合わせ、82大学と東京都及び招致委員会がそれぞれの資源を活用し、相互に連携・協力体制を構築し、一層の招致気運の高揚を図り、招致活動の成功を目指すこととなりました。

（視覚障害系支援課総務係）



締結式に参加した（右から）村上学長、中澤さん、森助教



締結後、記念写真が撮影された（村上学長は手前列右から2番目）

● パラトライアスロンの国際大会にて学生が準優勝

5月11日から12日に横浜市内で行われた「2013世界トライアスロンシリーズ横浜大会」のパラトライアスロンの部 TRI6-a（弱視）に、本学保健科学部保健学科鍼灸学専攻1年の中澤隆（りゅう）さんが出場し、準優勝となりました。

以下、中澤さんのコメントです。「正直言えば、悔しいです。この悔しい気持ちをバネに、より一層努力して行きたいと思います。」

中澤さんは、今後、9月にロンドンで開催される「ITU世界トライアスロングランドファイナル2013」に出場予定です。

（保健学科鍼灸学専攻 大沢 秀雄）



銀メダルを胸に記念撮影をする中澤さん（左）とガイドの原田 雄太郎さん

● 第22回夏季デフリンピックに学生4名の出場が決定

7月26日から8月4日にブルガリア（ソフィア）で開催される「第22回夏季デフリンピック大会」に、本学学生4名が出場する予定です。この大会は聴覚障害者の国際大会としては最も大きな大会であり、聴覚障害者の誰もが憧れる4年に1度の大会です。本学からは、中村 晃大さん：陸上競技（産業情報・4年）、品田 千紘さん：バドミントン（産業情報・4年）、吉野 勇樹さん：サッカー（産業情報・3年）、岩淵 亜依さん：サッカー（総合デザイン・2年）が出場します。また、本学卒業生も多数出場予定です。詳細につきましては、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会“デフリンピック

ク啓発ウェブサイト”（<http://www.jfd.or.jp/deaflympics/>）をご覧ください。応援宜しくお願いいたします。



（障害者高等教育研究支援センター 中島 幸則）

● 卒業生の北橋 主税さんが筑波大学芸術賞受賞

本学卒業生である北橋 主税（ちから）さん（総合デザイン学科建築デザインコース（平成23年3月卒））が、筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻環境デザイン領域修了にあたり、修士研究において論文の部で最も名誉ある「筑波大学芸術賞」を受賞し、3月21日、授賞式並びに代表プレゼンテーションが行われました。

筑波大学の大学院前期課程（修士）では、専門性の違いに応じた2つの領域群と計14の領域があり、この春、合計73名の修士が輩出されました。それぞれの領域から1名ずつ代表作品が選出され、最終プレゼンテーションを経て、「制作の部」と「論文の部」から最優秀として1名ずつ筑波大学芸術賞が与えられます。北橋さんは、この「論文の部」で受賞しました。

北橋さんの修士研究は、本学での卒業研究から継続していた「都市広場におけるイベント環境づくりの支援体制と運営実態」をテーマとし、イベントによって活性化している広場の実態把握のために何度も富山市の対象地を調査し、最終的には設計者や行政が取り組むべき広場化の要求を提案としてまとめたものです。

今後、勤務先の和ハウス工業株式会社での活躍が期待

されます。

（総合デザイン学科 長島 一道）



筑波大学芸術賞受賞の論文と共に

● 聴覚障害者卓球日本代表チームの練習会をサポート

4月28、29日、聴覚障害者日本代表卓球チームの練習が、天久保キャンパス体育館において行われました。このチームは、昨年日本で行われた「ろう者卓球世界大会」において、個人・団体に金メダルをとり、今回のデフリンピックにおいて、最も期待されているチームです。本番までの残り少ない練習会を本学で行い、卓球サークルの学生も、選手のために2日間サポートを行いました。また、今回の日本代表選手の中には、本学卒業生である有馬 歓生（よしお）選手も参加していました。日本代表卓球チームのデフリンピックでの活躍を期待したいと思います。

（障害者高等教育研究支援センター 中島 幸則）



日本代表選手と本学卓球部学生

お知らせ

●【平成 25 年度公開講座実施予定】

● 聾学校での造形教育に関する指導法

開催期日：8月2日（金曜） 10：00～16：00（5時間）

定員：10名 受講料：5,000円

対象：聾学校等の美術・図工・デザイン等担当教員等

● 企業情報システム設計のための業務知識速習講座

開催期日：8月6日（火曜）～8月7日（水曜）の2日間

10：00～16：00（11時間）

定員：20名 受講料：7,000円

対象：システムエンジニア

● <初心者のための総合CAD基礎講座> 作って学ぶCADとモデリング；3次元プリンタによる立体モデルの製作まで

開催期日：8月24日（土曜）、8月25日（日曜）の2日間

10：00～16：00（10時間）

定員：10名 受講料：3,000円

対象：市民一般

● 医師のための鍼灸実践講座

開催期日：9月8日（日曜）、10月6日（日曜）、11月10日（日曜）の3日間 10：00～15：00（12時間）

定員：10名 受講料：7,000円

対象：医師・歯科医師

● 統合医療で健康寿命を延ばそう!! - 今からはじめるロコモティブシンドローム対策 -

開催期日：9月8日（日曜）9：00～15：00（5時間）

定員：30名 受講料：2,000円

対象：市民一般

● 中高年の健康チェックと転倒予防

開催期日：10月19日（土曜）10：00～16：00（5時間）

定員：10名 受講料：2,000円

対象：市民一般

● 聴覚に障害を持つ方のための CBT 方式 IT パスポート試験対策講座

開催期日：9月1日～3月29日の期間（30時間）

定員：10名 受講料：6,000円

対象：全国の聴覚障害者

●【平成 25 年度大学説明会の実施について】

産業技術学部

実施地区	実施日	会場名	場 所	最寄り駅
関西地区	7月7日（日）	新梅田研修センター	大阪府大阪市	大阪駅
オープンキャンパス	8月3日（土）	天久保キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅
授業見学会	11月5日（火）	天久保キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅

備考 上記の3会場のほかに、ミニ説明会の開催希望を特別支援学校（聾学校）及び聴覚障害関係団体等に照会し、ミニ説明会を積極的に行う。

保健科学部

実施地区	実施日	会場名	場 所	最寄り駅
進学ガイダンス	7月11日（木）	ANA クラウンプラザホテル新潟	新潟県新潟市	新潟駅
九州会場	7月20日（土）	アクロス福岡	福岡県福岡市	天神駅
北海道会場	7月20日（土）	アスティ45ビル	北海道札幌市	札幌駅
東海会場	7月20日（土）	河合塾千種キャンパス千種校	愛知県名古屋市	千種駅
中国会場	7月21日（日）	広島ガーデンパレス	広島県広島市	広島駅
東北会場	7月21日（日）	仙台ガーデンパレス	宮城県仙台市	仙台駅
関西会場	7月21日（日）	大阪ガーデンパレス	大阪府大阪市	新大阪駅
夏のオープンキャンパス	7月28日（日） 8月25日（日）	春日キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅
秋のオープンキャンパス	10月25日（金）	春日キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅